

議事要旨(2) その他の包括利益に関するショート・ペーパーの公表について

冒頭、小賀坂副委員長より、ショート・ペーパーを公表する背景に説明がなされた。続けて関口委員より、説明資料[審議資料(1)-2]に基づき、詳細な説明がなされた。

説明に対する委員からの主な意見と、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

- ある委員より、次のような発言がなされた。
 - ショート・ペーパーとしては分量が多いように感じるので、要点を絞った方が良いのではないか。
 - ショート・ペーパー・シリーズ No.1 という形で通し番号を振っているが、適時性を重視した内容であるため、番号を振って過去のものをストックすることは馴染まないのではないか。
 - 「OCI の必要性」というタイトルは、OCI を必要以上に積極的に肯定しているように捉えられる可能性があり、より主張を明確に示す名称に変更した方が良いのではないか。
- これに対して事務局からは、次のような回答がなされた。
 - 当初もう少し短いものを想定していたが、主張を補強していく過程で加筆していったことから、ご指摘の通り、当初想定した以上に分量が増えた面はある。しかし、この点に対応するため、冒頭に要約を記載させていただいている。
 - ショート・ペーパーについては、今回で終わりとは考えておらず、今後も継続的に公表し、会計基準に関するグローバルな議論に向けてASBJの見解を発信していきたい。
 - タイトルについては、ご指摘を踏まえ、どのように修正可能かについて検討したい。
- ある委員より、ショート・ペーパーを公表することには賛成するとした上で、OCI を廃止する場合に考えられる影響、財務情報の有用性の増進、という2つの側面から同じ内容を論じて主張を増強しているために、文章が長く感じられるのかもしれない、という発言がなされた。
 - これに対して事務局からは、文章の構成について見直したい、という発言がなされた。
- ある委員より、ショート・ペーパーを公表することに賛成するとした上で、具体的に誰に読んでもらうことを想定して作成され、どのような形で公表する予定か、という質問がなされた。
 - これに対して事務局からは、ショート・ペーパーについて公表次第、ASBJのホームページに掲載するとともに、概念フレームワークを巡るグローバルな議論に貢献する観点から、ASAFのメンバーにも送付して周知したい、という回答がなされた。

以上